

「近世譜代大名論」

関ヶ原合戦後、徳川家康は豊臣政権の打破と自らの支配体制の確立を目指し、諸大名の配置転換を進めました。特に美濃の地は京畿・西国制圧のための前線として重視されており、新たに4名の家康家臣が入国しています。彼らは一般的に「譜代大名」に分類されていますが、この「譜代」という概念はどのように形成され、江戸時代の政治秩序にどのような特徴を有していったのでしょうか。近世初期政治史を専門とする三宅正浩氏の講演を通じて、その疑問点に迫ります。



松平忠明像
(妙心寺塔頭天祥院蔵)

日時
会場
料金
講師
定員
申込み

2023年
2月5日(日) 13:30~15:00

岐阜県博物館 けんぱくホール(関市小屋名1989)

入場無料

但し、本館入館には入館券(一般600円・大学生300円・高校生以下無料)が必要です

三宅 正浩(みやけ まさひろ) 京都大学文学研究科 准教授

先着65名

要事前申込み(1/5(木)受付開始)

岐阜県博物館ホームページのメールフォーム

電話 0575-28-3111



お申し込みはこちら



GIFU PREFECTURAL MUSEUM
岐阜県博物館

501-3941 岐阜県関市小屋名1989

TEL 0575-28-3111/FAX 0575-28-3110

<http://www.gifu-kenpaku.jp/>

- ◆ 「博物館学芸講座」は、県民の歴史・芸術・民俗・産業・自然科学等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的として実施する岐阜県博物館の講演会です。岐阜県及び特別展・企画展・常設展示などに関連するテーマの最新学術情報等を取り上げます。
- ◆ 講演実施時は、岐阜県博物館では、企画展「天下人 家康と美濃の諸将」、マイミュージアムギャラリー第7回展「おひなさまのセカンドライフ：福よせ雛」を開催中です。併せてご覧ください。